

No.					市立甲府病院 機能仕様書
Lv1	Lv2	Lv3	Lv4	Lv5	要件項目
18	1				基本機能
18	1	1			利用者認証
18	1	1	1		システムを利用する際に、職員コード、パスワードによるログインができること。
18	1	1	2		職員コード、パスワードは、大文字・小文字を区別して認識できること。
18	1	1	3		職員コードは半角10文字、パスワードは半角16文字まで登録ができること。
18	1	1	4		離席時のログオフ（ロック）が行え、解除をする際は職員コードを入力せずにパスワード入力のみでログインすることができること
18	1	1	5		個人情報保護機能として、結果照会など患者属性と検査値を同時に表示する画面の場合、特定のキーを押すことで患者名称・患者番号が"*"に瞬時に表示が置き換えることができること。また、再表示には、ログインID・パスワードの入力を必須とすることができること。
18	1	1	6		ログイン方法は以下から選択可能である事。 <ul style="list-style-type: none"> ・ユーザー認証なし：ユーザー認証を行いません。 ・ユーザーID+パスワード：ユーザーID、パスワードの入力により認証を行います。 ・FeliCa認証：FeliCaによる認証を行います。 ・FeliCa認証+パスワード：FeliCaによる認証を行います。対応するパスワードの入力が必要です。 ・FeliCa認証またはユーザーID+パスワード：FeliCaによる認証、または、ユーザーID、パスワードの入力により認証を行います。
18	1	1	7		患者情報を取り扱う業務画面は、全てリンク（患者を引き継ぐ）が可能である事。依頼入力画面から結果入力画面・状況表示画面から問合せ画面など、患者番号の再入力することなく1クリックで画面遷移が可能である事。
18	1	1	8		使用頻度の高い業務のショートカットキーを配置し呼出しが容易に実施できること。ショートカットキーの設定が、全端末共通、端末別、利用者ID別に設定ができること。
18	1	1	9		使用頻度が少ない業務については、必要に応じて画面左側にサイドメニューを表示させ業務効率性を上げる事ができること。
18	1	2			基本画面
18	1	2	1		ログイン情報領域にて、ログイン職員氏名（漢字）を表示すること。
18	1	2	2		基本画面に、各業務画面を起動するための業務メニューボタンを有すること。
18	1	2	3		画面上に、一部のアラート情報をユーザに通知するためアラート領域を有すること。
18	1	2	4		アラート領域には、警告時にアラートボタンを表示し、マスタ、結果値、遅延、分析器に関する警告ができること。
18	1	2	5		マスタ、結果値、遅延、分析器のアラートボタンは、黒、赤の2色で表示されること。
18	1	2	6		画面上に表示されるアラートボタンから、詳細内容を確認するためのアラート画面が起動できること。
18	1	2	7		基本画面に、離席時のためのログオフボタン（ロックボタン）を有すること。
18	1	2	8		基本画面に、ログアウトボタン（システムボタン）を有すること。
18	1	2	9		基本画面に、画面ハードコピーを印刷出力するためのボタンを有すること。
18	1	2	10		基本画面に、ログ参照画面の表示を指示するボタンを有すること。
18	1	2	11		基本画面に、現在のシステム日時を表示する領域を有すること。
18	1	3			ログ参照画面
18	1	3	1		ログ情報は、「処理内容」「時刻」「発生元」「詳細内容」の表示ができること。
18	1	3	2		処理内容については、「追加しました」「変更しました」などの分類で判別され登録されること。
18	1	3	3		発生元については、「業務」「マスタ」「MEオンライン」の分類で判別され登録されること。
18	1	3	4		ログ情報については、検索期間・ユーザID・処理内容・指示端末・受付日・患者ID・バーコードなどの条件で抽出できること。
18	1	4			アラート画面
18	1	4	1		検査結果値が閾値を超えた場合、項目の背景色を変更し表示可能なこと
18	1	4	2		検体到着確認から一定時間を越えたことを警告する「遅延アラート」が表示できること。
18	1	4	3		分析器エラーが発生したことを警告する「分析器アラート」が表示できること。
18	1	4	4		結果値アラートについては、下記がチェック可能であること。
18	1	4	5		・バニックチェック
18	1	4	6		・レンジチェック
18	1	4	7		・デルタチェック
18	1	4	8		・二次開数デルタチェック
18	1	4	9		・項目相関チェック
18	1	4	10		「バニックチェック」に対し以下の閾値設定ができること。
18	1	4	11		・依頼元別
18	1	4	12		・材料別
18	1	4	13		・年齢別
18	1	4	14		・性別別
18	1	4	15		・妊娠収集別
18	1	4	16		「レンジチェック」に対し以下の閾値設定ができること。
18	1	4	17		・依頼元別
18	1	4	18		・材料別
18	1	4	19		・年齢別
18	1	4	20		・性別別
18	1	4	21		・妊娠収集別
18	1	4	22		「デルタチェック」に対し以下の閾値設定ができること。
18	1	4	23		・依頼元別
18	1	4	24		・材料別
18	1	4	25		・年齢別
18	1	4	26		・性別別
18	1	4	27		・妊娠収集別
18	1	4	28		「項目相関チェック」に対し以下の閾値設定ができること。
18	1	4	29		・依頼元別
18	1	4	30		・材料別
18	1	4	31		・年齢別
18	1	4	32		・性別別
18	1	4	33		・妊娠収集別
18	1	4	34		分析器アラート画面では、エラーが発生したME機器の名称が表示されること。
18	1	5			ガイダンスエリア
18	1	5	1		通常業務の画面上で、もしくは容易な操作により、選択された画面の説明や操作手順など操作のサポート内容を確認できること。
18	2				依頼入力
18	2	1			依頼個別入力

18	2	1	1	電子カルテシステム等の上位システムとの通信が行えなくなった場合に、検査システム上から検査依頼を入力できること。
18	2	1	2	また、編集、削除機能も設け、上位システムからの依頼を含め編集を可能とし、これにより検査部にて細部の修正、情報入力ができること。
18	2	1	3	依頼入力業務を効率的に行えるよう、下記に記載する「依頼基本情報」「検査項目・採取管情報・負荷薬剤」の情報を1画面で表示および入力できること。
18	2	1	4	「依頼基本情報」について、下記の機能を実装すること。
18	2	1	5	・依頼予約日の入力が行えること。
18	2	1	6	・予約部門コードの入力が行え、入力方式はテキスト入力・部門検索入力の両方の入力機能を有すること。
18	2	1	7	・予約番号の入力が行えること。
18	2	1	8	・上記について、予約番号の空き状況が確認できるよう、採番済みの予約番号一覧を表示できること。
18	2	1	9	・患者番号の入力が行え、入力方式はテキスト入力・患者検索入力の両方の入力機能を有すること。
18	2	1	10	・上記について、患者検索入力は、“検査日・受付番号”、“検査日・部門受付番号”、“バーコード”、“オーダ番号”、“骨髄年次SEQ”等の検索が行えること。
18	2	1	11	・医師コードの入力が行え、入力方式はテキスト入力・医師検索入力の両方の入力機能を有すること。
18	2	1	12	・依頼元コードの入力が行え、入力方式はテキスト入力・部門検索入力の両方の入力機能を有すること。
18	2	1	13	・入外区分の入力が行え、入力方式はプルダウンから選択して入力ができること。
18	2	1	14	・科コードの入力が行え、入力方式はテキスト入力・科検索入力の両方の入力機能を有すること。
18	2	1	15	・部署コードの入力が行え、入力方式はテキスト入力・部署検索入力の両方の入力機能を有すること。
18	2	1	16	・緊急区分の入力が行え、入力方式はプルダウンから選択して入力できること。
18	2	1	17	・採取予定日の入力が行えること。
18	2	1	18	・蓄尿時刻の入力ができること。
18	2	1	19	・尿量の入力ができること。
18	2	1	20	・病室情報の入力ができること。
18	2	1	21	・妊娠週数の入力ができること。
18	2	1	22	・オーダコメントの入力が行え、入力方式は、コメントマスタから選択して入力できること。
18	2	1	23	「検査項目」について、下記の機能を実装すること。
18	2	1	24	・「依頼伝票入力」「項目一覧」の2方式の入力画面を有し、タブにて表示切り替えできること。
18	2	1	25	・「依頼伝票入力」形式において、検査項目・セット項目の入力が行え、入力方式は伝票レイアウトに類似した一覧から複数選択して入力できること
18	2	1	26	・「項目一覧」形式において、検査項目・セット項目の入力が行え、入力方式はテキスト入力・コード検索入力の両方の入力機能を有すること
18	2	1	27	・「項目一覧」形式において、可変負荷時間の入力が行え、入力方式はチェックボックスから複数選択して入力できること
18	2	1	28	・「マークシート」形式で選択された項目に関してはラジオボタンの切り替えの際に「項目一覧」形式にリアルタイムに反映すること
18	2	1	29	「採取管情報」について、下記の機能を実装すること。
18	2	1	30	・検査項目にリンクして緊急種別が自動入力され、また内容変更できること。
18	2	1	31	・検査項目にリンクして採取コードが自動入力され、また内容変更できること。
18	2	1	32	・検査項目にリンクして採取略称が自動入力されること。
18	2	1	33	・検査項目にリンクして材料コードが自動入力されること。
18	2	1	34	・検査項目にリンクして材料名が自動入力されること。
18	2	1	35	・検査項目にリンクして負荷時間略称が自動入力されること。
18	2	1	36	・検査項目にリンクして総採取量が自動入力されること。
18	2	1	37	「負荷薬剤」について、下記の機能を実装すること。
18	2	1	38	入力中の全データをクリアする“全クリア”ボタンを有すること。
18	2	1	39	検査項目は“セット”のほか“セット+項目”、“セット-項目”にて指定可能なこと。
18	2	1	40	入力データ登録時、採取・分注ラベルの出力有無をそれぞれ指定できること。
18	2	2		依頼一括入力
18	2	2	1	類似した複数の依頼を一括で入力できる機能を有すること。
18	2	2	2	依頼入力業務を効率的に行えるよう、下記に記載する「依頼基本情報」「検査項目・採取管情報」の情報を1画面で入力および確認できること
18	2	2	3	「依頼基本情報」について、下記の機能を実装すること。
18	2	2	4	・複数の予約番号を予約番号指定もしくは件数指定にて一括取得できること。 (予約番号指定は○○～○○、件数指定は○○～△件という形式で一括取得できること)
18	2	2	5	・複数の予約番号それぞれに患者情報の入力ができ、入力方式はテキスト入力・患者検索入力の両方の入力機能を有すること。
18	2	2	6	・上記について、患者検索入力は、“検査日・受付番号”、“検査日・部門受付番号”、“バーコード”、“オーダ番号”、“骨髄年次SEQ”等の検索が行えること。
18	2	2	7	・複数の予約番号それぞれに医師コードの入力ができ、入力方式はテキスト入力・医師検索入力の両方の入力機能を有すること。
18	2	2	8	・複数の予約番号一括で依頼予約日の入力が行え、入力方式はテキスト入力・カレンダー入力の両方の入力機能を有すること。
18	2	2	9	・複数の予約番号一括で予約部門コードの入力が行え、入力方式はテキスト入力・部門検索入力の両方の入力機能を有すること。
18	2	2	10	・複数の予約番号一括で依頼元コードの入力が行え、入力方式はテキスト入力・部門検索入力の両方の入力機能を有すること。
18	2	2	11	・複数の予約番号一括で入外区分の入力が行えること。
18	2	2	12	・複数の予約番号一括で科コードの入力が行え、入力方式はテキスト入力・科検索入力の両方の入力機能を有すること。
18	2	2	13	・複数の予約番号一括で緊急区分の入力が行え、入力方式はプルダウンから選択して入力できること。
18	2	2	14	・複数の予約番号一括で採取予定日の入力が行えること。
18	2	2	15	・複数の予約番号一括でオーダコメントの入力が行え、入力方式は、コメントマスタから選択して入力できること。
18	2	2	16	「検査項目」について、下記の機能を実装すること。
18	2	2	17	・「依頼伝票入力」「項目一覧」の2方式の入力画面を有し、タブにて表示切り替えできること。
18	2	2	18	・「依頼伝票入力」形式において、検査項目・セット項目の入力が行え、入力方式は伝票レイアウトに類似した一覧から複数選択して入力できること。
18	2	2	19	・「項目一覧」形式において、検査項目・セット項目の入力が行え、入力方式はテキスト入力・コード検索入力の両方の入力機能を有すること
18	2	2	20	・「項目一覧」形式において、可変負荷時間の入力が行え、入力方式はチェックボックスから選択して入力できること。
18	2	2	21	・「マークシート」形式で選択された項目に関してはオプションボタンの切り替えの際に「項目一覧」形式にリアルタイムに反映すること。
18	2	2	22	「採取管情報」について、下記の機能を実装すること。
18	2	2	23	・検査項目にリンクして緊急種別が自動入力され、また内容変更できること。
18	2	2	24	・検査項目にリンクして採取コードが自動入力され、また内容変更できること。
18	2	2	25	・検査項目にリンクして採取略称が自動入力されること。
18	2	2	26	・検査項目にリンクして材料コードが自動入力されること。
18	2	2	27	・検査項目にリンクして材料名が自動入力されること。
18	2	2	28	・検査項目にリンクして負荷時間略称が自動入力されること。
18	2	2	29	・検査項目にリンクして総採取量が自動入力されること。
18	2	2	30	入力中の全データをクリアする“全クリア”ボタンを有すること。
18	2	2	31	検査項目は“セット”のほか“セット+項目”、“セット-項目”にて指定可能なこと。
18	2	2	32	入力データ登録時、採取・分注ラベルの出力有無をそれぞれ指定できること。

18	2	3		患者入力
18	2	3	1	患者番号の入力が行えること。
18	2	3	2	上記について、患者番号の空き状況が確認できるよう、採番済みの患者番号一覧を表示できること。
18	2	3	3	基本情報として、患者名の入力ができること。
18	2	3	4	患者名のカナ入力ができること。
18	2	3	5	カルテIDの入力ができること。
18	2	3	6	性別の入力が行え、入力方式はプルダウンから選択して入力ができること。
18	2	3	7	生年月日の入力が行えること。
18	2	3	8	身長の入力ができること。
18	2	3	9	体重の入力ができること。
18	2	3	10	クレアチニンクリアランスに反映できること。
18	2	3	11	体表面積の自動計算ができること。
18	2	3	12	血液型の入力が行え、入力方式はプルダウンから選択して入力ができること。
18	2	3	13	RHの入力が行え、入力方式はプルダウンから選択して入力ができること。
18	2	3	14	注意メモが80バイトまで入力ができること。
18	2	3	15	通常メモが80バイトまで入力ができること。
18	2	3	16	登録済みの患者番号について、進行中の受付情報が表示できること。
18	2	3	17	感染症情報として、感染症コードの入力が行えること。
18	2	3	18	感染症情報として、陰陽の入力が行えること。
18	2	3	19	感染症情報として、最終改定日時の入力が行えること。
18	2	3	20	特定疾患情報として、特定疾患コードの入力が行えること。
18	2	3	21	特定疾患情報として、陰陽の入力が行えること。
18	2	3	22	特定疾患情報として、最終改定日時の入力が行えること。
18	3	2		実施入力
18	3	1		採取ラベル発行
18	3	1	1	医師が依頼した外来患者の検査に使用する採取ラベルを個別発行することができること。
18	3	1	2	医師が依頼した翌日の入院患者の検査に使用する採取ラベルを一括発行することができること。
18	3	1	3	上記に加え、病棟毎に配布する採取指示リストを併せて印刷することができること。
18	3	1	4	プリンタ故障等の理由により採取ラベルが正常に印刷できなかった場合に、発行時と同様の条件を指定して、採取ラベルの再発行を行うことができること。
18	3	1	5	採取ラベルのバーコード汚れ等により、分析器付属のバーコードリーダでは読み取れなくなった場合等に、PC付属のバーコードリーダで採取番号を読み取って再発行を行うことができること。
18	3	1	6	採取ラベル発行業務を効率的に行えるよう、下記に記載する「採取ラベル発行条件」「予約情報一覧」「患者情報」「ラベル情報一覧」等の情報を1画面で表示および入力できること。
18	3	1	7	「採取ラベル発行条件」について、下記の機能を実装すること。
18	3	1	8	・“通常発行”“再発行”“通常発行（一括）”“再発行（一括）”等が選択して入力できること。
18	3	1	9	・予約部門の入力が行え、入力方式はプルダウンから選択して入力ができること。
18	3	1	10	・予約日の入力が行え、入力方式はテキスト入力・カレンダー入力の両方の入力機能を有すること。
18	3	1	11	・“再発行”を選択した場合、採取番号の入力ができること。
18	3	1	12	・“再発行”を選択した場合、採取管種別の入力が行え、入力方式は採取管検索一覧からチェックボックスで選択して複数入力できること。
18	3	1	13	・“通常発行（一括）”“再発行（一括）”を選択した場合、予約番号の入力ができること。 (予約番号は〇〇～〇〇という形式で入力できること)
18	3	1	14	・“通常発行（一括）”“再発行（一括）”を選択した場合、入力方式はプルダウンで「受付日+受付番号」「検査日+部門+部門受付番号区分+部門受付番号」から選択して入力できること。
18	3	1	15	・“通常発行（一括）”“再発行（一括）”を選択した場合、依頼元の入力が行え、入力方式は採取管検索一覧からチェックボックスで選択して複数入力できること。
18	3	1	16	採取ラベル発行条件に該当するレコードを依頼情報一覧に表示し、確認ができること。 さらに、レコードの削除指示を行えること。
18	3	1	17	「依頼情報一覧」について、下記の機能を実装すること。
18	3	1	18	・予約日を表示すること。
18	3	1	19	・予約番号を表示すること。
18	3	1	20	・緊急区分を表示すること。
18	3	1	21	・感染症マークを表示すること。
18	3	1	22	・患者氏名を表示すること。
18	3	1	23	・患者番号を表示すること。
18	3	1	24	・発行状況を「未発行」「発行完了」「登録エラー」「印刷エラー」等の分類で表示すること。
18	3	1	25	・依頼コメントを表示すること。
18	3	1	26	・依頼元を表示すること。
18	3	1	27	・依頼医師を表示すること。
18	3	1	28	・枚数を表示すること。
18	3	1	29	・採取予定日時を表示すること。
18	3	1	30	・採取発行日時を表示すること。
18	3	1	31	・採取実施日時を表示すること。
18	3	1	32	・到着確認日時を表示すること。
18	3	1	33	・依頼情報一覧で表示されたレコードのラベル印刷ができること。
18	3	1	34	・依頼情報一覧で表示されたレコードのリスト印刷ができること。
18	3	1	35	依頼情報一覧で選択されているレコードの患者情報を表示すること。
18	3	1	36	「患者情報」について、下記の機能を実装すること。
18	3	1	37	・患者番号を表示すること。
18	3	1	38	・患者氏名を表示すること。
18	3	1	39	・患者カナを表示すること。
18	3	1	40	・発行状況を「未発行」「発行完了」「登録エラー」「印刷エラー」等の分類で表示すること。
18	3	1	41	・予約日を表示すること。
18	3	1	42	・予約番号を表示すること。
18	3	1	43	・依頼元を表示すること。
18	3	1	44	・依頼医師を表示すること。
18	3	1	45	・予定日時を表示すること。
18	3	1	46	・発行日時を表示すること。
18	3	1	47	・実施日時を表示すること。

18	3	1	48		・到着日時を表示すること。
18	3	1	49		・ラベル枚数を表示すること。
18	3	1	50		・依頼コメントを表示すること。
18	3	1	51		依頼情報一覧で選択されるレコードに関して発行される全てのラベル情報を表示すること。
18	3	1	52		「ラベル情報一覧」について、下記の機能を実装すること。
18	3	1	53		・採取番号を表示すること。
18	3	1	54		・採取管略称を表示すること。
18	3	1	55		・時間略称を表示すること。
18	3	1	56		・材料略称を表示すること。
18	3	1	57		・採取量を表示すること。
18	3	1	58		・ラベル枚数を表示すること。
18	3	1	59		ラベル出力は「プリントサーバ」にて管理され、指示時に電源OFF時でも保持し、電源投入後に自動出力される事。
18	3	2		到着確認	
18	3	2	1		バーコード、および手入力により未到着採取管に対する到着確認ができること。
18	3	2	2		到着確認時には、属性要求のデータが未入力である場合でも次の採取管の到着確認ができること。
18	3	2	3		エラーが発生した場合には、エラー表示できること。
18	3	2	4		到着確認時にエラーになったレコードに対する検査内容詳細の登録は不可とすること。
18	3	2	5		到着確認が成功した場合、分注コードがある場合には、自動で分注ラベルの発行ができること。
18	3	2	6		到着確認業務を効率的に行えるよう、身長・体重・尿量を1画面で表示および入力できること。
18	3	2	7		「到着確認一覧」について、下記の機能を実装すること。
18	3	2	8		・採取番号がバーコード、および手入力が入力できること。
18	3	2	9		・再到着ボタンを有し、到着確認ができなかったものに対して再到着確認ができること。
18	3	2	10		・再到着を行ったレコードに対しては再到着マークを表示すること。
18	3	2	11		・受付日・受付番号を表示すること。
18	3	2	12		・負荷時間を表示すること。
18	3	2	13		・緊急の場合は緊急マークを、至急の場合は至急マークを表示すること。
18	3	2	14		・感染症がある場合は感染症マークを表示すること。
18	3	2	15		・属性情報がある場合は属性マークを表示すること。
18	3	2	16		・受付単位の到着数と同じ採取番号の採取管が2本以上存在する場合、その本数を表示すること。
18	3	2	17		・検査指示情報を表示すること。
18	3	2	18		・患者氏名を表示すること。
18	3	2	19		・患者番号・性別を表示すること。
18	3	2	20		・採取略称を表示すること。
18	3	2	21		・採取実施日時を表示すること。
18	3	2	22		・依頼元略称を表示すること。
18	3	2	23		・材料略称を表示すること。
18	3	2	24		・依頼フリーコメントを表示すること。
18	3	2	25		・依頼定型コメントを表示すること。
18	3	2	26		・到着確認日時を表示すること。
18	3	2	27		・表示変更ボタンを有し、MEタブの追加削除の設定ができること。
18	3	2	28		・一覧クリアボタンを有し、一覧情報をクリアできること。
18	3	2	29		・モードボタンを有し、下記の制限の設定ができること。
18	3	2	30		(1) 過去日の到着確認を可能とする。
18	3	2	31		(2) 未来日の到着確認を可能とする。
18	3	2	32		(3) 全部門の到着確認を可能とする。
18	3	2	33		(4) 依頼データ無しを再到着エラーとする。
18	3	2	34		(5) 状況不適データを再到着エラーとする。
18	3	2	35		(6) 分注ラベルの自動発行を可能とする。
18	3	2	36		「未到着検査一覧」について、下記の機能を実装すること。
18	3	2	37		・緊急の場合は緊急マークを、至急の場合は至急マークを表示すること。
18	3	2	38		・予約日を表示すること。
18	3	2	39		・受付部門を表示すること。
18	3	2	40		・採取番号を表示すること。
18	3	2	41		・患者氏名を表示すること。
18	3	2	42		・到着数を表示すること。
18	3	2	43		・入外区分を表示すること。
18	3	2	44		・依頼元略称を表示すること。
18	3	2	45		・依頼登録日時を表示すること。
18	3	2	46		・表示変更ボタンを有し、下記の表示の設定ができること。
18	3	2	47		(1) 日付範囲の条件指定 (過去○○日～未来○○日)
18	3	2	48		(2) 受付番号範囲の条件指定 (○○番～○○番)
18	3	2	49		(3) 受付部門の条件指定 (全区分・各部門)
18	3	2	50		(4) 緊急区分の条件指定 (全区分・緊急・至急・通常等)
18	3	2	51		(5) 入外区分の条件指定 (全区分・入院・外来・入院中外来・受託検査等)
18	3	2	52		「検査情報」について、下記の機能を実装すること。
18	3	2	53		・採取番号を表示すること。
18	3	2	54		・到着確認エラーを表示すること。
18	3	2	55		・性別を表示すること。
18	3	2	56		・年齢を表示すること。
18	3	2	57		・依頼元略称を表示すること。
18	3	2	58		・依頼医師を表示すること。
18	3	2	59		・材料略称を表示すること。
18	3	2	60		・分析ラベルを表示すること。
18	3	2	61		・身長を表示すること。
18	3	2	62		・体重を表示すること。
18	3	2	63		・体表面積を表示すること。
18	3	2	64		・尿量を表示すること。
18	3	2	65		・番尿時間を表示すること。
18	3	2	66		・依頼コメントを表示すること。

18	3	2	67		「検査項目一覧」について、下記の機能を実装すること。
18	3	2	68		・項目略称を表示すること。
18	3	2	69		・検査結果値を表示すること。
18	3	2	70		・付加コメントを表示すること。
18	3	2	71		・検査状況を表示すること。
18	3	2	72		・前回結果値を表示すること。
18	3	2	73		・前回値の付加コメントを表示すること。
18	3	2	74		・表示変更ボタンを有し、下記の表示の設定ができること。
18	3	2	75		(1) 採取管単位/受付単位の条件指定。
18	3	2	76		・次頁ボタン/前頁ボタンを有し、画面に表示されている未到着検査のものの次の未到着検査、もしくは前の未到着検査を表示することができること。
18	3	2	77		到着確認画面を再起動したとき、当日の到着確認履歴を保持し、表示できること。
18	3	3			ワークシート発行
18	3	3	1		用手法検査に使用するワークシートの採番と印刷を連動して実行することができること。
18	3	3	2		その際、システムは状況に応じて採番、印刷の必要性を自動的に判定すること。
18	3	3	3		分析器接続に使用するワークシートの採番を行うことができること。
18	3	3	4		また、システムは分析器の精度管理データを格納するために使用するSEQ-Noを自動的に挿入することができること。
18	3	3	5		用手法検査のために印刷したワークシートが汚濁等により使用できなくなった場合に再印刷を行うことができること。
18	3	3	6		操作ミス等により、誤った採番を行ってしまった場合に、採番のやり直しを行うことができること。
18	3	3	7		データベースの更新や、プリンタからの印刷を行う前に、処理後の状態を確認し、誤りがあれば処理を行わずに取り消すことができること。
18	3	3	8		ワークシート発行業務を効率的に行えるよう、下記に記載する「ワークシート作成条件」「ワークシート一覧」「ワークシート情報」「ワークシート詳細」の情報を1画面で表示および入力できること。
18	3	3	9		「ワークシート作成条件」について、下記の機能を実装すること。
18	3	3	10		・“通常作成”“再印刷”“再作成”がプルダウンから選択して入力できること。
18	3	3	11		・ワークシート日付の入力が行え、入力方式はテキスト入力・カレンダー入力の両方の入力機能を有すること。
18	3	3	12		・“通常作成”“再印刷”を選択した場合、受付日の入力が行え、入力方式はテキスト入力・カレンダー入力の両方の入力機能を有すること。
18	3	3	13		・“通常作成”“再印刷”を選択した場合、受付番号の入力ができること。 (受付番号は〇〇～〇〇という形式で入力できること)
18	3	3	14		・“再作成”を選択した場合、ワークシートSEQの入力ができること。 (ワークシートSEQは〇〇～〇〇という形式で入力できること)
18	3	3	15		「ワークシート一覧」について、下記の機能を実装すること。
18	3	3	16		・ワークシートコードの入力が行え、入力方式はコード検索一覧からチェックボックスで選択して複数入力できること。セットワークシートでの指示ができること。
18	3	3	17		・入力したワークシートコードの略称を表示すること。
18	3	3	18		・印刷するプリンタの入力が行え、入力方式はプルダウンで選択して入力できること。
18	3	3	19		・精度管理スケジュールワークシートを選択した場合、精度管理指示の入力が行え、入力方式はプルダウンで選択して入力できること。
18	3	3	20		・状態を「未印刷」「印刷済」の分類で表示すること。
18	3	3	21		・開始SEQを表示すること。
18	3	3	22		・終了SEQを表示すること。
18	3	3	23		「ワークシート情報」について、下記の機能を実装すること。
18	3	3	24		・ワークシート一覧で選択されたレコードの全てのワークシート情報を表示すること。
18	3	3	25		・ワークシートコードを表示すること。
18	3	3	26		・ワークシート作成件数を表示すること。
18	3	3	27		・SEQ範囲を表示すること。
18	3	3	28		・順序を表示すること。
18	3	3	29		・精度管理スケジュールワークシートを選択した場合、精度管理指示を表示すること。
18	3	3	30		・精度管理スケジュールワークシートを選択した場合、精度管理件数を表示すること。
18	3	3	31		「ワークシート詳細」について、下記の機能を実装すること。
18	3	3	32		・ワークシート一覧で選択されたレコードの全てのワークシート詳細を表示すること。
18	3	3	33		・採番予定、または採番済のワークシートSEQを表示すること。
18	3	3	34		・緊急区分を表示すること。
18	3	3	35		・感染症有無を表示すること。
18	3	3	36		・患者氏名を表示すること。
18	3	3	37		・患者番号を表示すること。
18	3	3	38		・受付日を表示すること。
18	3	3	39		・受付番号を表示すること。
18	3	3	40		・採取番号を表示すること。
18	3	3	41		・状態を「未印刷」「印刷済」の分類で表示すること。
18	3	3	42		・依頼コメントを表示すること。
18	3	3	43		・依頼元を表示すること。
18	3	3	44		・採取日時を表示すること。
18	3	3	45		・到着日時を表示すること。
18	3	3	46		・検査状況を表示すること。
18	3	3	47		WSのレイアウトを、カスタマイズを伴わずにマスタレベルで自由に変更できること。
18	3	4			分注ラベル発行
18	3	4	1		到着確認済の採取管に対応する分注ラベルを、検査の開始時にまとめて発行することができること。
18	3	4	2		到着確認した採取管の検査を直ちに開始するため、PC付属のバーコードリーダで採取番号を読み取って、対応する分注ラベルの発行を行うことができること。
18	3	4	3		プリンタ故障などの理由により分注ラベルが正常に印刷できなかった場合に、発行時と同様の条件を指定して、分注ラベルの再発行を行うことができること。
18	3	4	4		データベースの更新や、プリンタからの印刷を行う前に、処理後の状態を確認し、誤りがあれば処理を行わずに取り消すことができること。
18	3	4	5		分注ラベル発行業務を効率的に行えるよう、下記に記載する「受付情報一覧」「患者情報」「ラベル情報一覧」の情報を表示および入力できること。
18	3	4	6		「分注ラベル発行条件」について、下記の機能を実装すること。
18	3	4	7		・受付部門の入力が行え、入力方式はプルダウンから選択して入力ができること。
18	3	4	8		・受付日の入力が行え、入力方式はテキスト入力・カレンダー入力の両方の入力機能を有すること。
18	3	4	9		・受付番号の入力ができること。 (予約番号は〇〇～〇〇という形式で入力できること)
18	3	4	10		・採取番号の入力ができること。
18	3	4	11		・採取管種別の入力が行え、入力方式は採取管検索一覧からチェックボックスで選択して複数入力できること。

18	3	4	12	分注ラベル発行条件に該当するレコードを受付情報一覧に表示し、確認ができること。 さらに、レコードの削除指示を行えること。
18	3	4	13	「受付情報一覧」について、下記の機能を実装すること。
18	3	4	14	・受付日を表示すること。
18	3	4	15	・受付番号を表示すること。
18	3	4	16	・緊急区分を表示すること。
18	3	4	17	・感染症マークを表示すること。
18	3	4	18	・患者氏名を表示すること。
18	3	4	19	・患者番号を表示すること。
18	3	4	20	・発行状況を「未発行」「発行完了」「印刷エラー」等の分類で表示すること。
18	3	4	21	・依頼コメントを表示すること。
18	3	4	22	・依頼元を表示すること。
18	3	4	23	・依頼医師を表示すること。
18	3	4	24	・枚数を表示すること。
18	3	4	25	・採取予定日時を表示すること。
18	3	4	26	・採取発行日時を表示すること。
18	3	4	27	・採取実施日時を表示すること。
18	3	4	28	・到着確認日時を表示すること。
18	3	4	29	・表示されたレコードのラベル印刷ができること。
18	3	4	30	・表示されたレコードのリスト印刷ができること。
18	3	4	31	受付情報一覧で選択されているレコードの患者情報を表示すること。
18	3	4	32	「患者情報」について、下記の機能を実装すること。
18	3	4	33	・患者番号を表示すること。
18	3	4	34	・患者氏名を表示すること。
18	3	4	35	・患者カナを表示すること。
18	3	4	36	・おおよその年齢・性別が判断できるマークを表示できること。
18	3	4	37	・発行状況を「未発行」「発行完了」「印刷エラー」等の分類で表示すること。
18	3	4	38	・受付日を表示すること。
18	3	4	39	・受付番号を表示すること。
18	3	4	40	・依頼元を表示すること。
18	3	4	41	・依頼医師を表示すること。
18	3	4	42	・予定日時を表示すること。
18	3	4	43	・発行日時を表示すること。
18	3	4	44	・実施日時を表示すること。
18	3	4	45	・到着日時を表示すること。
18	3	4	46	・ラベル枚数を表示すること。
18	3	4	47	・依頼コメントを表示すること。
18	3	4	48	受付情報一覧で選択されるレコードに関して発行される全てのラベル情報一覧を表示すること。
18	3	4	49	「ラベル情報一覧」について、下記の機能を実装すること。
18	3	4	50	・採取番号を表示すること。
18	3	4	51	・採取管略称を表示すること。
18	3	4	52	・時間略称を表示すること。
18	3	4	53	・分注管略称を表示すること。
18	3	4	54	・分注量を表示すること。
18	3	4	55	・ラベル枚数を表示すること。
18	3	4	56	ラベル出力は「プリントサーバ」にて管理され、指示時に電源OFF時でも保持し、電源投入後に自動出力される事。
18	4	3		結果入力
18	4	1		進捗状況
18	4	1	1	担当する検査の進捗状況を確認し、測定や報告が遅れている検体の検索ができること。
18	4	1	2	再検状況を確認して技師判断が必要な検査結果の確認、再検指示ができること。
18	4	1	3	緊急報告が遅れている検体を確認して結果入力ができること。
18	4	1	4	承認が必要である検査を確認し、承認処理ができること。
18	4	1	5	進捗状況確認業務、再検指示業務、検査入力業務を効率的に行えるよう、下記に記載する「進捗状況検索」「進捗状況一覧」「検査情報」「検査結果」の情報を1画面で表示および入力できること。
18	4	1	6	「進捗状況検索」について、下記の機能を実装すること。
18	4	1	7	・受付日の入力が行え、入力方式はテキスト入力・カレンダー入力の両方の入力機能を有すること。
18	4	1	8	・進捗状況単位の選択ができ、選択方式はプルダウンで「全状況」「未発行」「未到着」「未検査」「未入力」「未確認」「未報告」から選択して入力ができること。
18	4	1	9	・緊急区分の入力が行え、入力方式はプルダウンから選択して入力できること。
18	4	1	10	・受付番号の入力ができること。 (受付番号は〇〇～〇〇という形式で入力できること)
18	4	1	11	・依頼元コードの入力が行え、入力方式はテキスト入力・部門検索入力の両方の入力機能を有すること。
18	4	1	12	・入外区分の入力が行え、入力方式はプルダウンから選択して入力ができること。
18	4	1	13	・医師コードの入力が行え、入力方式はテキスト入力・医師検索入力の両方の入力機能を有すること。
18	4	1	14	・採取番号の入力ができること。 (受付番号は〇〇～〇〇という形式で入力できること)
18	4	1	15	進捗状況検索に該当するレコードを進捗状況一覧に表示し、確認できること。
18	4	1	16	「進捗状況一覧」について、下記の機能を実装すること。
18	4	1	17	・緊急の場合は緊急マークを、至急の場合は至急マークを表示すること。
18	4	1	18	・到着確認日時を表示すること。
18	4	1	19	・受付番号を表示すること。
18	4	1	20	・採取番号を表示すること。
18	4	1	21	・進捗状況を表示すること。
18	4	1	22	・上記に関して、進捗の状況を日本語（「未到着」「未検査」など）表示できること。
18	4	1	23	・上記に関して、状況が入力済、確認済、最終報のときは、それぞれ結果入力時間、結果確認時間、報告実施時間を表示すること。
18	4	1	24	・上記に関して、状況が未検査、分注中、測定中、再検中、指示待のときは、語尾に到着確認時間からの経過時刻を表示すること。
18	4	1	25	・受付日を表示すること。
18	4	1	26	・採取名を表示すること。

18	4	1	27	・採取日時を表示すること。
18	4	1	28	・患者名を表示すること。
18	4	1	29	・依頼元を表示すること。
18	4	1	30	・材料を表示すること。
18	4	1	31	・医師名を表示すること。
18	4	1	32	・表示設定ボタンを有し、進捗状況の背景色について、下記の表示の設定ができること。
18	4	1	33	(1) 進捗状況ごとの背景色
18	4	1	34	(2) 到着確認から一定時間が経過した場合の背景色とその経過時間
18	4	1	35	(3) 報告予定時間が過ぎたレコードの背景色
18	4	1	36	・下記の表示の設定ができること。
18	4	1	37	(1) 単位 (受付番号/部門受付番号)
18	4	1	38	(2) 順序 (受付番号/部門受付番号/ワークシート/測定順/ラック)
18	4	1	39	・ワークシート単位で進捗管理が行え、タブにて切替表示できること。
18	4	1	40	・タブ設定ボタンを有し、タブについて、下記の表示の設定ができること。
18	4	1	41	(1) タブの追加/削除
18	4	1	42	(2) タブの並び替え
18	4	1	43	・下記のアラートチェックが行え、アラート時はタブにアラートマークを表示すること。
18	4	1	44	(1) M E 指示区分が再検査待ち
18	4	1	45	(2) 緊急区分が至急～緊急で報告予定日時が経過している
18	4	1	46	(3) M E エラー
18	4	1	47	進捗状況一覧で選択されているレコードの検査情報を表示すること。
18	4	1	48	「検査情報」について、下記の機能を実装すること。
18	4	1	49	・アラート情報を表示すること。
18	4	1	50	・年齢・性別に応じた患者顔イラストを表示すること。
18	4	1	51	・患者番号を表示すること。
18	4	1	52	・患者氏名を表示すること。
18	4	1	53	・患者カナを表示すること。
18	4	1	54	・性別を表示すること。
18	4	1	55	・年齢を表示すること。
18	4	1	56	・身長を表示すること。
18	4	1	57	・体重を表示すること。
18	4	1	58	・依頼元略称を表示すること。
18	4	1	59	・依頼医師名を表示すること。
18	4	1	60	進捗状況一覧で選択されているレコードの検査結果や再検査結果を表示および入力できること。
18	4	1	61	「検査結果」について、下記の機能を実装すること。
18	4	1	62	・検査項目名称を表示すること。
18	4	1	63	・結果値を表示すること。
18	4	1	64	・付加コメントを表示すること。
18	4	1	65	・進捗状況を表示すること。
18	4	1	66	・過去の結果値を時系列表示すること。
18	4	1	67	・初検値を表示すること。
18	4	1	68	・初検値の閾値チェックが行え、閾値を超える検査について、再検指示が登録できること。
18	4	1	69	・初期値、再検値以降から、採用する検査値を選択できること。
18	4	1	70	・画像データを参照、登録できること。
18	4	1	71	・検体コメントを参照、入力ができること。
18	4	1	72	バーコード情報より、該当患者の依頼情報を表示できること。
18	4	1	73	進捗一覧画面から、結果台帳を出力できること
18	4	1	74	項目毎の結果値・状況の更新履歴が参照できること。
18	4	2		結果入力/確認
18	4	2	1	ワークシート (紙) に記入された検査結果において、検索条件を指定してワークシートを検索し、結果を一括で入力・確認できること。
18	4	2	2	結果入力業務を効率的に行えるよう、下記に記載する「ワークシート検索条件」「結果入力一覧」「依頼情報」「画像」の情報を表示および入力できること。
18	4	2	3	「ワークシート検索条件」について、下記の機能を実装すること。
18	4	2	4	・ワークシートコードの入力が行え、入力方式はテキスト入力・コード検索入力の両方の入力機能を有すること。
18	4	2	5	・ワークシート作成日の入力が行え、入力方式はテキスト入力・カレンダー入力の両方の入力機能を有すること。
18	4	2	6	・S E Q 範囲の入力ができること。 (S E Q 範囲は○○～○○という形式で入力できること)
18	4	2	7	・緊急区分の入力が簡易な操作により行えること。
18	4	2	8	・進捗状況の入力が規定の区分から簡易な操作により行えること。
18	4	2	9	ワークシート検索条件に該当するレコードを結果入力一覧に表示し、結果入力ができること。
18	4	2	10	「結果入力一覧」について、下記の機能を実装すること。
18	4	2	11	・S E Q を表示すること。
18	4	2	12	・受付日を表示すること。
18	4	2	13	・受付番号を表示すること。
18	4	2	14	・採取番号を表示すること。
18	4	2	15	・緊急区分を表示すること。
18	4	2	16	・患者番号を表示すること。
18	4	2	17	・患者名 (漢字) を表示すること。
18	4	2	18	・患者名 (カナ) を表示すること。
18	4	2	19	・依頼した医師の氏名を表示すること。
18	4	2	20	・結果値の入力ができること。
18	4	2	21	・コメントの入力ができること。
18	4	2	22	・前回値を表示すること。
18	4	2	23	・進捗状況を表示すること。
18	4	2	24	・表示設定ボタンを有し、下記の表示の設定ができること。
18	4	2	25	(1) 表示順の条件指定 (S E Q 昇順・S E Q 降順・受付番号昇順・受付番号降順等)
18	4	2	26	(2) 表示方向の条件指定 (縦方向・横方向)
18	4	2	27	(3) 表示項目の条件指定 (受付日・受付番号・採取番号・緊急区分・患者番号・患者名 (漢字)・患者名 (カナ)・依頼元・医師・コメント・前回値等)

18	4	2	28	結果入力一覧で選択されているレコードの依頼情報を表示すること。
18	4	2	29	「依頼情報」について、下記の機能を実装すること。
18	4	2	30	・受付日を表示すること。
18	4	2	31	・受付番号を表示すること。
18	4	2	32	・採取番号を表示すること。
18	4	2	33	・緊急区分を表示すること。
18	4	2	34	・入外区分を表示すること。
18	4	2	35	・患者番号を表示すること。
18	4	2	36	・患者名（漢字）を表示すること。
18	4	2	37	・患者名（カナ）を表示すること。
18	4	2	38	・性別を表示すること。
18	4	2	39	・年齢を表示すること。
18	4	2	40	・依頼元の略称を表示すること。
18	4	2	41	・依頼医師の氏名を表示すること。
18	4	2	42	・検査の材料を表示すること。
18	4	2	43	・蓄尿時間を表示すること。
18	4	2	44	・蓄尿量を表示すること。
18	4	2	45	・妊娠週数を表示すること。
18	4	2	46	・検査コメントおよび対象（全報告書・報告しない・登録済み報告書等）を入力できること。
18	4	2	47	ワークシート検索条件に該当する結果入力の一覧から選択されたレコードについて、JPG、PDF形式などの画像情報を取り込み、登録できること。
18	4	2	48	結果入力時、パニックなど設定した特定の結果チェックでエラーとなるものは、登録確認画面が表示されること。
18	4	3		血液像検査結果入力
18	4	3	1	血液像検査結果入力が可能であること。
18	4	3	2	血液像機械法の数値結果の取り込みが可能であること。
18	4	3	3	カウンタ入力業務は、カウンターキーを任意のキーへ割り当て可能であること。
18	4	3	4	カウント時にリアルタイムチェック（上記）が可能であること。
18	4	3	5	過去特異データの存在する患者を、結果入力時に同一画面上のマークなどにより認識できること。
18	4	3	6	血液像機械法のNeutro(N)とLympo(L)の結果を分析装置から取得する際に、「N数<L数」だった場合はエラーとすることが可能であること。
18	4	3	7	Fe、NAPのスコアリング機能を有すること。
18	4	3	8	同一検査で複数の検査機器で検体を分けて分析し、機器間差の精度管理（比較）ができること。
18	4	3	9	一時保存機能を有すること
18	4	3	10	要目視検体フィルタリング機能を有すること。
18	4	3	11	入力者情報を入力できること
18	4	3	12	画像、患者属性、結果値などを組み合わせPDF形式の報告書を生成できること。 報告書のレイアウトは、プログラムを改造することなくマスタメンテレベルで変更できること。
18	4	3	13	同一画面より呼び出された所見コメント入力（800バイト）画面にてコメント入力可能であること。
18	4	4		尿沈渣検査結果入力
18	4	4	1	尿沈渣検査結果入力が可能であること。
18	4	4	2	カウンタ入力業務は、カウンターキーを任意のキーへ割り当て可能であること。
18	4	4	3	カウント時にリアルタイムチェック（上記）が可能であること。
18	4	4	4	過去特異データの存在する患者を、結果入力時に同一画面上のマークなどにより認識できること。
18	4	4	5	2項目間特殊チェック（表示2項目の結果値の組み合わせで判定結果を項目単位に保持）が可能であること。
18	4	4	6	2項目間特殊チェックの組み合わせ（2項目コードと各結果値）はマスタにて設定可能であること。
18	4	4	7	尿定性、尿沈渣の両方の検査がある場合は、尿沈渣の結果が揃うまでは結果送信しないよう制御可能であること。
18	4	4	8	同一検査で複数の検査機器で検体を分けて分析し、機器間差の精度管理（比較）ができること。
18	4	4	9	要目視検体フィルタリング機能を有すること。
18	4	5		骨髄像検査結果入力
18	4	5	1	骨髄像検査結果入力が可能であること。
18	4	5	2	カウンタ入力業務は、カウンターキーを任意のキーへ割り当て可能であること。
18	4	5	3	カウント時にリアルタイムチェック（上記）が可能であること。
18	4	5	4	過去特異データの存在する患者に対し入力時には同一画面上のマークなどにより認識できること。
18	4	5	5	同一画面より呼び出された所見コメント入力（800バイト）画面にてコメント入力可能であること。
18	4	5	6	所見コメント入力後、骨髄像画像と所見コメントによる報告書を自動で生成可能であること。
18	4	5	7	作成された骨髄像報告書は電子媒体で保存可能であること。
18	4	5	8	同一検査で複数の検査機器で検体を分けて分析し、機器間差の精度管理（比較）ができること。
18	4	5	9	一時保存機能を有すること
18	4	5	10	要目視検体フィルタリング機能を有すること。
18	4	5	11	入力者情報を入力できること
18	4	5	12	画像、患者属性、結果値などを組み合わせPDF形式の報告書を生成できること。 報告書のレイアウトは、プログラムを改造することなくマスタメンテレベルで変更できること。
18	5	4		照会
18	5	1		結果照会
18	5	1	1	検査技師が診療側の問い合わせに回答するために、医師等の診療側の要件を考慮した検査結果閲覧ができること。
18	5	1	2	検索条件を指定して検査結果一覧を閲覧することができること。
18	5	1	3	“時系列グラフ”や“詳細画面”を起動することができること。
18	5	1	4	“報告書作成画面”を起動することができ、報告書を印刷することができること。
18	5	1	5	結果照会業務を効率的に行えるよう、下記に記載する「検査結果検索」「検査結果一覧」「検査情報」「検査結果値」「画像」の情報を1画面で表示および入力できること。
18	5	1	6	「検査結果検索」について、下記の機能を実装すること。
18	5	1	7	・採取日の入力が行え、入力方式はテキスト入力・カレンダー入力の両方の入力機能を有すること。 (採取日は○○～○○という形式で入力できること)
18	5	1	8	・依頼元コードの入力が行え、入力方式はテキスト入力・部門検索入力の両方の入力機能を有すること。
18	5	1	9	・患者番号の入力が行え、入力方式はテキスト入力・患者検索入力の両方の入力機能を有すること。
18	5	1	10	・依頼医師コードの入力が行え、入力方式はテキスト入力・部門検索入力の両方の入力機能を有すること。
18	5	1	11	・緊急区分の入力が行え、簡易な操作で「全て」「緊急」「至急～緊急」「通常」等規定の区分から選択して入力できること。
18	5	1	12	・状況の入力が行え、簡易な操作で「全状況」「未発行」「未到着」「未測定」「再検中」「測定中」「未確認」「確認済み」等規定の区分から選択して入力できること。

18	5	1	13	検査結果検索に該当するレコードを依頼単位で検査結果一覧に表示し、確認できること。
18	5	1	14	「検査結果一覧」について、下記の機能を実装すること。
18	5	1	15	・緊急区分を表示すること。
18	5	1	16	・採取日時を表示すること。
18	5	1	17	・患者氏名（漢字）を表示すること。
18	5	1	18	・依頼元を表示すること。
18	5	1	19	・依頼医師名を表示すること。
18	5	1	20	・検査状況を表示すること。
18	5	1	21	・報告状況を表示すること。
18	5	1	22	・患者履歴検索画面では、下記の表示ができること。
18	5	1	23	(1) 採取日時
18	5	1	24	(2) 到着日時
18	5	1	25	検査結果一覧で選択されているレコードの検査情報を表示すること。
18	5	1	26	「検査情報」について、下記の機能を実装すること。
18	5	1	27	・年齢・性別に応じた患者顔イラストを表示すること。
18	5	1	28	・患者番号を表示すること。
18	5	1	29	・患者氏名を表示すること。
18	5	1	30	・患者カナを表示すること。
18	5	1	31	・性別を表示すること。
18	5	1	32	・年齢を表示すること。
18	5	1	33	・生年月日を表示すること。
18	5	1	34	・血液型（RH）を表示すること。
18	5	1	35	・身長を表示すること。
18	5	1	36	・体重を表示すること。
18	5	1	37	・体表面積を表示すること。
18	5	1	38	・緊急区分を表示すること。
18	5	1	39	・依頼元略称を表示すること。
18	5	1	40	・入外区分を表示すること。
18	5	1	41	・依頼医師名を表示すること。
18	5	1	42	・検査状況を表示すること。
18	5	1	43	・報告状況を表示すること。
18	5	1	44	・採取実施日時を表示すること。
18	5	1	45	・蓄尿量を表示すること。
18	5	1	46	・蓄尿時間を表示すること。
18	5	1	47	検査結果一覧で選択されているレコードの検査結果値を簡易な操作により確認可能なこと。
18	5	1	48	「検査結果値」について、下記の機能を実装すること。
18	5	1	49	・検査項目略称を表示すること。
18	5	1	50	・材料略称を表示すること。
18	5	1	51	・検査結果数値を表示すること。
18	5	1	52	・付加コメントを表示すること。
18	5	1	53	・検査状況を表示すること。
18	5	1	54	・基準値範囲を表示すること。
18	5	1	55	検査結果一覧で選択されているレコードの検査結果画像を表示することができること。
18	5	1	56	検査結果値を複数選択して時系列グラフを表示することができること。
18	5	1	57	受付番号・採取管単位でなく、オーダ単位に一画面で表示できること。
18	5	1	58	項目毎の結果値・状況の更新履歴が参照できること。
18	5	2		データ抽出
18	5	2	1	抽出条件を指定してデータ抽出を行うことができること。
18	5	2	2	抽出データを画面上で閲覧することができること。
18	5	2	3	抽出データをCSV形式で保存することができること。
18	5	2	4	データ抽出業務を効率的に行えるよう、下記に記載する「データ抽出条件」「プレビュー画面」の情報を1画面で表示および入力できること。
18	5	2	5	「データ抽出条件」について、下記の機能を実装すること。
18	5	2	6	・必須条件として、受付日の入力が行えること。 (受付日は○○～○○という形式で入力できること)
18	5	2	7	・必須条件として、受付番号の入力が行えること。 (受付番号は○○～○○という形式で入力できること)
18	5	2	8	・必須条件として、受付部門コードの入力が行え、入力方式はテキスト入力・部門検索入力の両方の入力機能を有すること。
18	5	2	9	・オプション条件として、下記の項目と記号で検索条件文が設定できること。
18	5	2	10	(1) 項目：患者番号 記号：＝
18	5	2	11	(2) 項目：依頼元コード 記号：＝
18	5	2	12	(3) 項目：医師コード 記号：＝
18	5	2	13	(4) 項目：項目コード 記号：＝
18	5	2	14	(5) 項目：結果値（数値） 記号：＝、≠、＜、≤、＞、≥
18	5	2	15	(6) 項目：結果値（文字） 記号：＝
18	5	2	16	(7) 項目：デルタ差 記号：＝、≠、＜、≤、＞、≥
18	5	2	17	(8) 項目：入外区分 記号：＝
18	5	2	18	(9) 項目：年齢 記号：＝、≠、＜、≤、＞、≥
18	5	2	19	(10) 項目：身長 記号：＝、≠、＜、≤、＞、≥
18	5	2	20	(11) 項目：体重 記号：＝、≠、＜、≤、＞、≥
18	5	2	21	(12) 項目：体表面積 記号：＝、≠、＜、≤、＞、≥
18	5	2	22	(13) 項目：性別 記号：＝、≠
18	5	2	23	・オプション条件は、最大20件まで組み合わせて指定できること
18	5	2	24	・オプション条件は、ANDもしくはORで組み合わせることができること
18	5	2	25	・オプション条件は、名前を付けて保存できること
18	5	2	26	検索条件に該当するデータをプレビュー画面に一覧表示し、確認ができること。
18	5	2	27	「プレビュー画面」について、下記の機能を実装すること。
18	5	2	28	・表示変更ボタンを有し、データ抽出し表示する項目を下記からチェックボックスで複数選択して設定ができること。
18	5	2	29	(1) オーダ番号
18	5	2	30	(2) 患者番号

18	5	2	31	(3) 患者名 (漢字)
18	5	2	32	(4) 患者名 (カナ)
18	5	2	33	(5) 施設元コード
18	5	2	34	(6) 施設元コード (略称)
18	5	2	35	(7) 入外区分
18	5	2	36	(8) 年齢
18	5	2	37	(9) 性別
18	5	2	38	(10) 身長
18	5	2	39	(11) 体重
18	5	2	40	(12) 体表面積
18	5	2	41	(13) 医師名 (漢字)
18	5	2	42	(14) 医師名 (カナ)
18	5	2	43	(15) 受付部門コード
18	5	2	44	(16) 受付部門コード (略称)
18	5	2	45	(17) 受付日
18	5	2	46	(18) 受付番号
18	5	2	47	(19) 採取No
18	5	2	48	(20) 検査項目コード
18	5	2	49	(21) 検査項目コード (略称)
18	5	2	50	(22) 緊急区分
18	5	2	51	(23) 検査状況
18	5	2	52	(24) 報告状況
18	5	2	53	(25) 結果値略称
18	5	2	54	(26) 付加コメント
18	6	5		報告管理
18	6	1		報告発行
18	6	1	1	検索条件または、作成条件を指定して、全ての報告書の出力ができること。
18	6	1	2	通常出力モードでは報告が必要な情報のみを抽出し、再発行モードの場合には報告済の情報のみを抽出し、出力できること。
18	6	1	3	強制モードでは、正式な報告を行う条件が揃わない検査結果情報を抽出し、出力できること。
18	6	1	4	報告発行業務を効率的に行えるよう、下記に記載する「検索条件」「報告種別一覧」「報告種別情報」「報告書一覧」「報告発行条件」の情報を1画面で表示および入力できること。
18	6	1	5	「検索条件」について、下記の機能を実装すること。
18	6	1	6	・指示モードの入力が行え、簡易な操作により「通常（報告の準備が整い、かつ未報告なオダの報告書を発行するモード）」「再出力（一度発行した報告済の報告書を発行するモード）」「強制（準備が整わないオダの報告書を発行するモード）」等規定の区分から選択して入力ができること。
18	6	1	7	・結果確認日の入力が行え、入力方式はテキスト入力・カレンダー入力の両方の入力機能を有すること。 (結果確認日は○○～○○という形式で入力できること)
18	6	1	8	・受付日の入力が行え、入力方式はテキスト入力・カレンダー入力の両方の入力機能を有すること。 (受付日は○○～○○という形式で入力できること)
18	6	1	9	・受付番号の入力ができること。 (受付番号は○○～○○という形式で入力できること)
18	6	1	10	・依頼元コードの入力が行え、入力方式はテキスト入力・部門検索入力の両方の入力機能を有すること。
18	6	1	11	・患者番号の入力が行え、入力方式はテキスト入力・患者検索入力の両方の入力機能を有すること。
18	6	1	12	・入外区分の入力が行え、簡易な操作により「入院」「外来」「すべて」等規定の区分の中から選択して入力できること。
18	6	1	13	・指示モードに「再出力」を選択した場合に、出力日の入力が行え、入力方式はテキスト入力・カレンダー入力の両方の入力機能を有すること。
18	6	1	14	検索条件に該当するレコードを報告種別一覧に表示し、確認できること。
18	6	1	15	「報告種別一覧」について、下記の機能を実装すること。
18	6	1	16	・報告書レイアウト略称を表示すること。
18	6	1	17	・検索条件の指示モードに「強制」を選択した場合に報告書コードを入力でき、該当する報告書レイアウト略称を表示すること。
18	6	1	18	・出力するプリンタの略称を表示し、プルダウンで選択して変更できること。
18	6	1	19	・出力状態を「未出力」「出力成功」「出力失敗」の分類で表示すること。
18	6	1	20	・出力件数を表示すること。
18	6	1	21	報告種別一覧で選択されているレコードの報告種別情報を表示すること。
18	6	1	22	「報告種別情報」について、下記の機能を実装すること。
18	6	1	23	・報告書コードを表示すること。
18	6	1	24	・報告書区分を「通常報告書」「多段階報告書」「総合報告書」「時系列報告書」「退院時サマリ」等の分類で表示すること。
18	6	1	25	・印字順をマスタ指定できること。
18	6	1	26	報告種別一覧で選択されているレコードの報告書一覧を表示すること。
18	6	1	27	「報告書一覧」について、下記の機能を実装すること。
18	6	1	28	・予約日を表示すること。
18	6	1	29	・予約Noを表示すること。
18	6	1	30	・受付日を表示すること。
18	6	1	31	・受付Noを表示すること。
18	6	1	32	・患者番号を表示すること。
18	6	1	33	・患者氏名を表示すること。
18	6	1	34	・性別を表示すること。
18	6	1	35	・緊急区分を表示すること。
18	6	1	36	・検査状況を表示すること。
18	6	1	37	・報告状況を表示すること。
18	6	1	38	・感染症マークを表示すること。
18	6	1	39	・依頼コメントを表示すること。
18	6	1	40	・採取実施日時を表示すること。
18	6	1	41	・到着確認日時を表示すること。
18	6	1	42	報告書一覧からチェックボックスで出力するレコードを複数選択できること。
18	6	1	43	「報告発行条件」について、下記の機能を実装すること。
18	6	1	44	・報告日の入力が行え、入力方式はテキスト入力・カレンダー入力の両方の入力機能を有すること。
18	6	1	45	・報告担当者コードの入力が行え、入力方式はテキスト入力・職員検索入力の両方の入力機能を有すること。
18	6	1	46	・検査担当者コードの入力が行え、入力方式はテキスト入力・職員検索入力の両方の入力機能を有すること。
18	6	2		報告進捗

18	6	2	1	検索条件を指定して、条件に一致するオーダ毎の各報告書の出力状態を確認できること。
18	6	2	2	報告発行業務を効率的に行えるよう、下記に記載する「検索条件」「報告状況一覧」の情報を1画面で表示および入力できること。
18	6	2	3	「検索条件」について、下記の機能を実装すること。
18	6	2	4	「通常報告書」「多段階報告書」「総合報告書」「時系列報告書」「退院時サマリ」等各報告書の出力状態が一覧形式で抽出されること。
18	6	2	5	・報告コードの入力が行え、入力方式はテキスト入力・コード検索入力の両方の入力機能を有すること。
18	6	2	6	・緊急区分の入力が行え、入力方式はチェックボックスで「通常」「至急」「緊急」から複数選択して入力ができること。
18	6	2	7	・依頼元の入力が行え、入力方式はテキスト入力・部署検索入力の両方の入力機能を有すること。
18	6	2	8	・受付日の入力が行え、入力方式はテキスト入力・カレンダー入力の両方の入力機能を有すること。 (受付日は〇〇～〇〇という形式で入力できること)
18	6	2	9	・受付番号の入力ができること。 (受付番号は〇〇～〇〇という形式で入力できること)
18	6	2	10	検索条件に該当するレコードを報告状況一覧に表示し、確認できること。
18	6	2	11	「報告状況一覧」について、下記の機能を実装すること。
18	6	2	12	・予約日を表示すること。
18	6	2	13	・予約Noを表示すること。
18	6	2	14	・受付日を表示すること。
18	6	2	15	・受付Noを表示すること。
18	6	2	16	・患者番号を表示すること。
18	6	2	17	・患者氏名を表示すること。
18	6	2	18	・依頼元を表示すること。
18	6	2	19	・依頼医師名を表示すること。
18	6	2	20	・緊急区分を表示すること。
18	6	2	21	・検査状況を表示すること。
18	6	2	22	・下記の進捗状況を明確に識別できる形式で表示すること。
18	6	2	23	(1) 未報告
18	6	2	24	(2) 中間訂正有
18	6	2	25	(3) 最終訂正有
18	6	2	26	(4) 中間報告済
18	6	2	27	(5) 最終報告済
18	7	6		外注・健診
18	7	1		外注依頼出力
18	7	1	1	外注業者に検査を依頼し、外注業者が測定した検査結果を受け取る業務と、測定の実施状況(漏れがないか等)を確認する業務とを効率的に実施することができること。
18	7	1	2	作成条件を指定して外注依頼FDを作成することができること。
18	7	1	3	依頼作成済みのデータのみを抽出し、FDの再作成を行うことができること。
18	7	1	4	FD作成前に作成内容をFD作成情報一覧から確認することができること。 さらに、レコードの除外指示をできること。
18	7	1	5	一覧に表示されている検体の詳細情報を確認することができること。
18	7	1	6	FD作成と同時に、作成内容のリストを印刷することができること。
18	7	1	7	外注依頼出力業務を効率的に行えるよう、下記に記載する「依頼FD作成条件」「FD作成情報一覧」「患者情報」「検査項目情報」の情報を表示および入力できること。
18	7	1	8	「依頼FD作成条件」について、下記の機能を実装すること。
18	7	1	9	・外注先の入力が行え、入力方式はプルダウンから選択して入力できること。
18	7	1	10	・受付日の入力が行え、入力方式はテキスト入力・カレンダー入力の両方の入力機能を有すること。 (受付日は〇〇～〇〇という形式で入力できること)
18	7	1	11	・受付番号の入力ができること。 (受付番号は〇〇～〇〇という形式で入力できること)
18	7	1	12	・受付日の入力が行えること。 (受付日は〇〇～〇〇という形式で入力できること)
18	7	1	13	・依頼作成済みのデータのみを抽出し、FDの再作成を行うことができること。
18	7	1	14	・依頼作成済みのデータは、外注先で検索が行え、入力方式はプルダウンから選択して検索できること。
18	7	1	15	・受付日を指定し、作成済みのデータを抽出できること
18	7	1	16	依頼FD作成条件に該当するレコードを抽出情報表示フィールドに表示し、確認ができること。
18	7	1	17	「FD作成情報一覧」について、下記の機能を実装すること。
18	7	1	18	・受付番号を表示すること。
18	7	1	19	・FDへの出力状態を「未出力」「出力済」「成功」「失敗」等の分類で表示すること。
18	7	1	20	・受付日を表示すること。
18	7	1	21	・患者番号を表示すること。
18	7	1	22	・患者氏名を表示すること。
18	7	1	23	・出力するファイルのサイズがFDの空き容量を超過した場合、エラーメッセージを表示すること。
18	7	1	24	・FD作成情報一覧からチェックボックスで複数選択したレコードに対し、プリンタ選択および台帳部数を入力し、台帳印刷ができること。
18	7	1	25	・FD作成情報一覧で選択されているレコードの患者情報を表示すること。
18	7	1	26	・患者番号を表示すること。
18	7	1	27	・患者氏名を表示すること。
18	7	1	28	・患者カナを表示すること。
18	7	1	29	・年齢・性別に応じた患者顔イラストを表示すること。
18	7	1	30	・性別を表示すること。
18	7	1	31	・年齢を表示すること。
18	7	1	32	・身長を表示すること。
18	7	1	33	・体重を表示すること。
18	7	1	34	・依頼元を表示すること。
18	7	1	35	・依頼医師を表示すること。
18	7	1	36	・材料を表示すること。
18	7	1	37	・蓄尿を表示すること。
18	7	1	38	・尿量を表示すること。
18	7	1	39	・分析ラベルを表示すること。
18	7	1	40	FD作成情報一覧で選択されているレコードの検査項目情報を表示すること。
18	7	1	41	「検査項目情報」について、下記の機能を実装すること。
18	7	1	42	・QCマークを表示すること。

18	7	1	43	・検査項目の名称を表示すること。
18	7	1	44	・進捗状況を表示すること。
18	7	1	45	外注依頼出力エラーリス等を出力できること
18	7	1	46	M E D I S 準拠のフォーマットで出力可能なこと
18	7	2		外注結果取込
18	7	2	1	読込条件を指定して外注結果 F D を読み込むことができること。
18	7	2	2	読み込んだ情報を外注結果台帳に出力することができること。
18	7	2	3	「F D 読込一覧」について、下記の機能を実装すること。
18	7	2	4	・ F D の読込状態を「読込成功」「読込失敗」「登録成功」「登録失敗」の分類で表示すること。
18	7	2	5	・『エラーリスト』ボタンを押下することで、エラー行・エラー内容を確認できること。
18	7	2	6	・エラーリスト一覧は印刷ができること。
18	7	2	7	「患者情報」について、下記の機能を実装すること。
18	7	2	8	・患者番号を表示すること。
18	7	2	9	・患者氏名を表示すること。
18	7	2	10	・患者カナを表示すること。
18	7	2	11	・年齢・性別に応じた患者顔イラストを表示すること。
18	7	2	12	・性別を表示すること。
18	7	2	13	・年齢を表示すること。
18	7	2	14	・身長を表示すること。
18	7	2	15	・体重を表示すること。
18	7	2	16	・依頼元を表示すること。
18	7	2	17	・依頼医師を表示すること。
18	7	2	18	・材料を表示すること。
18	7	2	19	・番尿を表示すること。
18	7	2	20	・尿量を表示すること。
18	7	2	21	・分析ラベルを表示すること。
18	7	2	22	「検査項目情報」について、下記の機能を実装すること。
18	7	2	23	・入力フォーマットの間違い等、読込処理中にエラーが発生した場合、処理を中断しエラー表示すること。
18	7	2	24	M E D I S 準拠のフォーマットから取り込み可能なこと
18	7	2	25	J P G , P N G , P D F 等の画像データを取り込めること。
18	7	2	26	導入時のシステム切り替えの際も、切替前に外部委託した依頼が新システムで取込できること。職員の手入力等が発生しないこと。
18	7	3		外注健診状況
18	7	3	1	検索条件を指定して検索を実行し、条件に一致する受託検査及び委託検査のグループ毎の検査進捗状態を表示できること。
18	7	3	2	フォーマットコードはすべて臨床検査データ交換標準化協議会 (M E D I S - D C) の標準仕様でできること。
18	7	4		精度管理
18	7	4	1	マルチルール (6ルール) のチェックを行い (West Gard)、結果を画面表示できること。
18	7	4	2	X,R,SD値の計算を行い、管理検体について日差のX-R精度管理図を画面表示できること。
18	7	4	3	管理検体について日差のX-Rs-R精度管理図をリスト出力・画面表示できること。
18	7	4	4	管理検体についてLevey-Jennings管理図を画面表示できること。
18	7	4	5	管理検体についてtwin-plot管理図を画面表示できること。
18	7	4	6	コントロール検体の測定結果の登録・修正ができること。
18	7	4	7	各種QCチェックの状況を日付単位に画面に一覧表示できること。
18	7	4	8	患者検体データについて以下の精度管理手法でチェックを行い、アウトになった検体についてその内容を画面確認できること。
18	7	4	9	・デルタチェック
18	7	4	10	・項目間チェック
18	7	4	11	・レンジチェック
18	7	4	12	・基準値外チェック
18	7	4	13	上記の手法の組み合わせは自由に行えること。
18	7	4	14	精度管理データメンテナンスができること
18	7	4	15	精度管理を月毎、指定したワークシート内項目毎に累積し、帳票を作成できること。
18	7	4	16	月毎に累積・算出した精度管理データのグラフ表示ができること。
18	7	4	17	精度管理項目マスタに登録した各種基準値を精度管理データの実測値をもとにして計算し、マスタに新基準値として登録できること。
18	7	4	18	項目別に正常値範囲に入っている結果データをもとに、指定のクラス別にヒストグラムを作成できること。
18	7	4	19	管理検体について日内のX-R精度管理またはX-Rs-R精度管理表を作成できること。
18	7	4	20	精度管理図作成条件を保存できること。
18	7	4	21	オンライン分析装置リアルタイム精度管理に加え、管理検体 (プール血清、コントロール血清等) による精度管理として、次の管理図の画面表示と帳票印刷が可能である事。
18	7	4	22	Xbar-R管理図。
18	7	4	23	ツインプロット管理図。
18	7	4	24	Cu-Sum管理図。
18	7	4	25	Xbar-Rs管理図。
18	7	4	26	L-J管理図。
18	7	4	27	精度管理に掛かる時間を短縮する為にコントロールモニタ画面を実装し一括での視覚的判断が出来ること。
18	7	4	28	コントロールモニタ画面から各種精度管理図へ遷移できること。
18	7	4	29	血球計測用コントロールの管理値登録は、管理値用FDアップロードによる取込ができること。
18	7	4	30	外部精度管理を実施することが可能である事 (eQAPIフォーマットでのデータ出力及び、メール送信することが可能である事。送信指示はバッチ指示)。
18	7	4	31	eQAPIマスターを有効期限別で管理する事が可能である事。 eQAP i マスターのキー情報は以下の通りとする。 MEコード/ME号機/試薬コード/ロット/ファイルNo/有効期限
18	7	5		統計
18	7	5	1	検査稼働統計として、項目別、依頼元別に検査件数を集計し、月報形式で出力できること。
18	7	5	2	TAT(turn around time)統計がとれること。
18	7	5	3	単純なまるめ統計がとれること。
18	7	6	6	再検査シミュレーション機能
18	7	6	6	抽出する期間、分析装置、項目、条件 (性別、年齢、依頼元、診療科、Dr. など) を設定し、各々の再検率を分析する事ができること
18	7	6	6	現状の閾値 (今回値再検レンジ、前回値再検レンジ、前回値差・比) での再検率と今後閾値を変更した場合の再検率を並列に表示し再検率のシミュレーションができること。
18	7	6	6	シミュレーションした再検条件に変更したい場合は、シミュレーションに使用した閾値をそのままマスタに自動登録できること。

18	7	6	6		抽出する期間を設定し、分析装置、項目、カテゴリ（性別、年齢、依頼元、診療科、Dr. など）毎のヒストグラムを作成できること。
18	7	6	6		データチェック機能を評価する時に、実際の検体を流すことなくチェックの妥当性を評価するシミュレーション機能を有することで、どのチェックに掛かったか確認できること。
18	8	7			M E
18	8	1			M E 管理
18	8	1	1		接続している分析装置の接続方式・接続状況など詳細情報を確認できること。
18	8	1	2		接続している分析装置の接続・切断の指示ができること。
18	8	1	3		M E 管理業務を効率的に行えるよう、「接続・切断指示」の情報を 1 画面で表示できること。
18	8	1	4		「M E 一覧」について、下記の機能を実装すること。
18	8	1	5		・ M E コードを表示すること。
18	8	1	6		・ 接続状況を表示すること。
18	8	1	7		常駐監視業務で選択されているレコードの端末情報（端末名称・IPアドレス・ステータス）、常駐処理（プロセス名称・IPアドレス・ポート・ステータス）を表示すること。
18	8	1	8		「M E 詳細表示」について、下記の機能を実装すること。
18	8	1	9		・ M E 名称を表示すること。
18	8	1	10		・ M E 号機を表示すること。
18	8	1	11		「接続・切断指示」について、下記の機能を実装すること。
18	8	1	12		・ 接続状況を表示すること。
18	8	1	13		昼間は搬送機器に接続し、当直時間帯は搬送を介さず直接分析装置とのオンラインが可能であること。
18	8	2			M E 接続
18	8	2	1		L A N による分析装置と接続が行え、特定の端末に依存することなく、どの端末からも分析装置の結果参照・再検指示・再検確認することができること。
18	8	2	2		バーコード読取機能を実装する分析装置については、手動による到着確認業務を行うことなく、そのまま分析装置に検体をかけることで、自動で、到着確認および結果登録ができること。
18	8	2	3		検査結果にて、初検値が閾値を超えたものについては、自動で分析装置に再検指示を登録できること。
18	8	2	4		システム稼働後の分析装置との接続費用は現状の半額程度で実施できること。
18	8	2	5		オンラインテストにおいて、現行システムでの動作確認までを行うこと。 ①分析装置の現行端末から新端末への接続切り替え ②テスト検体による測定実施 ③実施データの確認 ④分析装置の新端末から現行端末への接続切り替え ⑤現行システムでの動作確認
18	8	2	6		リアルタイムチェックとして下記のチェックが可能なこと。 「デルタ差」「デルタ比」「パニック」「レンジ」「項目相関」 チェックする順番や組み合わせなどをマスタ設定できること。
18	8	2	7		希釈を自動・手動で指定できること。
18	8	2	8		結果取込み時に項目を自動追加する機能があること。
18	9				その他
18	9	1			メンテナンス
18	9	1	1		ユーザーマスタの権限設定により、感染症情報の閲覧可否、検査結果の閲覧・更新可否、マスターの閲覧・更新可否、患者情報の閲覧可否の権限設定ができること。
18	9	1	2		マスタ（項目マスタ、基準値マスタ）は有効日付範囲による世代管理ができること。
18	9	1	3		日次処理（システム日替わり処理）については、サーバ・端末ともにアプリケーションの再起動を必要とせず、2 4 時間運用を可能とすること。
18	9	2			障害対策
18	9	2	1		分析装置を制御する端末の故障に備え、全ての分析装置を制御することができる障害時用端末を作成できること。
18	9	3			データ移行
18	9	3	1		現行システムに格納されている下記のデータを、全て新システムに移行できること。またデータ移行に際し、病院側では確認作業以外発生しないこと。
18	9	3	2		患者基本情報
18	9	3	3		検体情報
18	9	3	4		検体コメント情報
18	9	3	5		依頼・結果情報
18	9	3	6		患者検査履歴情報
18	9	3	7		自動採番情報
18	9	3	8		報告対象情報
18	9	3	9		再検情報
18	9	3	10		採取管データ情報
18	9	3	11		マスタ移行
18	9	3	12		現行システムに格納されている下記のマスタを、全て新システムに移行できること。またマスタ移行に際し、病院側では確認作業以外発生しないこと。
18	9	3	13		項目コードマスタ
18	9	3	14		オーダコメントマスタ
18	9	3	15		ワークシートマスタ
18	9	3	16		ワークシート項目マスタ
18	9	3	17		ワークシート親子マスタ
18	9	3	18		報告書基本マスタ
18	9	3	19		報告書項目マスタ
18	9	3	20		親子項目コードマスタ
18	9	3	21		分析器マスタ
18	9	3	22		分析器項目マスタ
18	9	3	23		依頼元コードマスタ
18	9	3	24		部門コードマスタ
18	9	3	25		セットコードマスタ
18	9	3	26		検体コメントマスタ
18	9	3	27		付加コメントマスタ
18	9	3	28		職員マスタ
18	9	3	29		材料マスタ
18	9	3	30		名称マスタ
18	9	3	31		外注区分マスタ

18	9	3	32	緊急区分マスタ
18	9	3	33	採取管マスタ
18	9	3	34	分注区分マスタ
18	9	3	35	プリンタコードマスタ
18	9	3	36	薬剤マスタ
18	9	3	37	結果コメントマスタ
18	9	3	38	精度管理マスタ
18	9	3	39	精度管理項目マスタ
18	9	3	40	採取分注量計算マスタ
18	9	3	41	項目相関マスタ
18	9	3	42	結果値範囲マスタ
18	9	3	43	コントロール種別マスタ
18	9	3	44	端末情報マスタ
18	9	4		マスタ連携
18	9	4	1	電子カルテと下記項目がマスタ連携可能であり、どちらか片方の修正で、もう片方のシステムにもマスタが自動的に反映されること。
18	9	4	2	・職員マスタ
18	9	4	3	・依頼元マスタ
18	9	4	4	・端末マスタ
18	9	5		ログイン連携
18	9	5	1	各種検査結果画面から、ワンクリックで電子カルテの患者画面に連携し、電子カルテ側検査結果が自動で表示されること。